

## 気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関するワークショップ

土木学会北海道支部では、北海道のような気候変動災害脆弱地域において、過去の降雨や地震履歴、経年的に変化する地盤の特性を反映できる手法を検討し、災害リスクの総合的な評価手法を確立することを目的に、平成 31 年度に「気候変動脆弱地域における複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会」を設立しました。

本ワークショップでは、学際領域を超え、気象学、地盤工学ならびに水工水文学に関する最新の情報収集、それらのデータ解析を行いながら、気候変動に伴い変化する複合地盤災害の潜在的な被災危険度について議論します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

- 主 催 : 土木学会北海道支部  
(担当: 気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会)
- 期 日 : 2021 年 5 月 12 日 (水) 13:00~16:00
- 会 場 : Zoom ウェビナーによるオンライン開催 (開催方法は別途 HP にてお知らせします)
- ワークショップの内容
  - ① 話題提供 (講演時間: 15 分程度 + 質疑応答時間: 5 分程度)
  - ② パネルディスカッション (30 分程度)
- 参加希望の方は、下記よりお申し込みください。  
<https://committees.jsce.or.jp/hokkaido/node/19>
- 申込期日: 2021 年 5 月 10 日 (月) 17:00  
手続き完了後、受付完了メールを送信します。メールには、Zoom ウェビナー URL、パスワードを記載します。なお、メールが届かない場合はアドレス入力に誤りがないかご確認のうえ、土木学会支部事務局へお問い合わせください。  
お問い合わせ先: 公益社団法人土木学会北海道支部 事務局  
TEL: 011-261-7742  
E-mail: [hjsce@olive.ocn.ne.jp](mailto:hjsce@olive.ocn.ne.jp)
- CPD : 2.9 ポイント  
CPD 受講証明書は参加申込いただいた方のうち CPD 受講証明発行用アンケートに回答していただくことで発行させていただきます。下記ページより発行申請をお願い申し上げます。

<https://forms.gle/HWkQCZw3f34Wr57U8> 申請締切: 2021 年 5 月 23 日 (日)

- ・建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者は、各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。
- ・他団体へ CPD 単位を登録する場合は、その団体の登録のルールに則って行われます。単位が認定されるかどうかは、直接その団体にお問い合わせください。

## 気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関するワークショップ プログラム

1. 委員長 挨拶 (13:00~13:05)
2. 話題提供 (13:05~15:30)
  - 13:05~13:25 「アンサンブル手法による気候変動予測と洪水リスク評価」  
北海道大学 山田 朋人
  - 13:25~13:45 「斜面災害の低頻度発生地域を対象とした気候変動にともなう危険度の評価」  
室蘭工業大学 中津川 誠
  - 13:45~14:05 「2016年8月北海道豪雨災害時における十勝川水系中小河川の土砂災害事例について」  
北海道大学 清水 康行
  - 14:05~14:25 「融雪期に発生した雪崩-土石流現象とその評価」  
室蘭工業大学 川村 志麻
  - 14:25~14:45 「釧路川堤防での法面崩壊メカニズムと気候変動を考慮した設計降雨量の考え方」  
北見工業大学 川尻 峻三
  - 14:45~15:05 「気候変動を考慮した寒冷地の道路のり面対策工」  
北見工業大学 川口 貴之
  - 15:05~15:15 休 憩
  - 15:15~15:30 「令和2年7月九州を襲った豪雨による国管理の河川堤防の被害事例とその教訓」  
九州大学 安福 規之
3. パネルディスカッション (15:30~16:00)  
コーディネーター 北海道大学 石川 達也

\*タイトルにつきましては、変更になることもあります。